

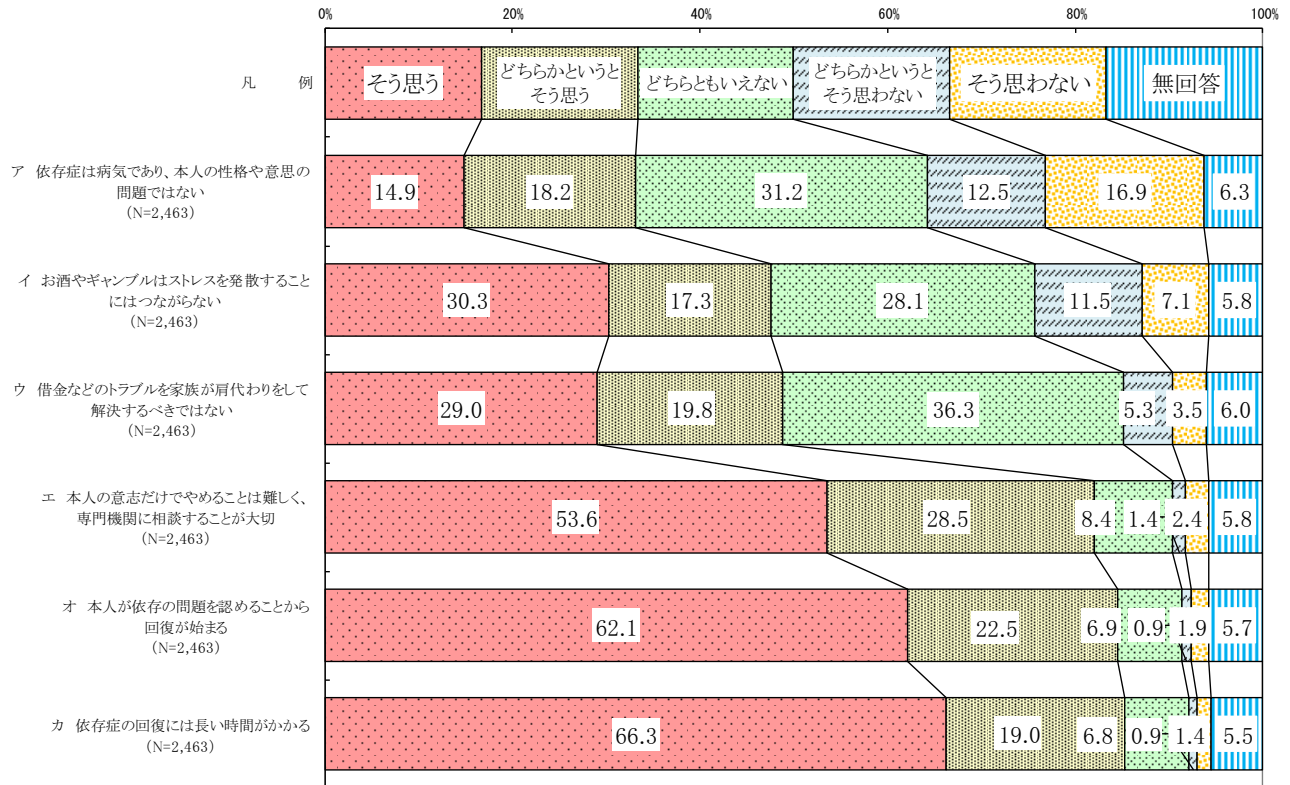
依存症に関する考え方

問19

アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～カのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

【全体のまとめ】

対象者全体(N=2,463)



【対象者全体】

“依存症は病気であり、本人の性格や意思の問題ではない”について「そう思う」が 14.9%、「どちらかというと思う」が 18.2%、合わせると 33.1%となっている。

“お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらない”について「そう思う」が 30.3%、「どちらかというと思う」が 17.3%、合わせると 47.6%となっている。

“借金などのトラブルを家族が肩代わりをして解決するべきではない”について「そう思う」が 29.0%、「どちらかというと思う」が 19.8%、合わせると 48.8%となっている。

“本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切”について「そう思う」が 53.6%、「どちらかというと思う」が 28.5%、合わせると 82.0%となっている。

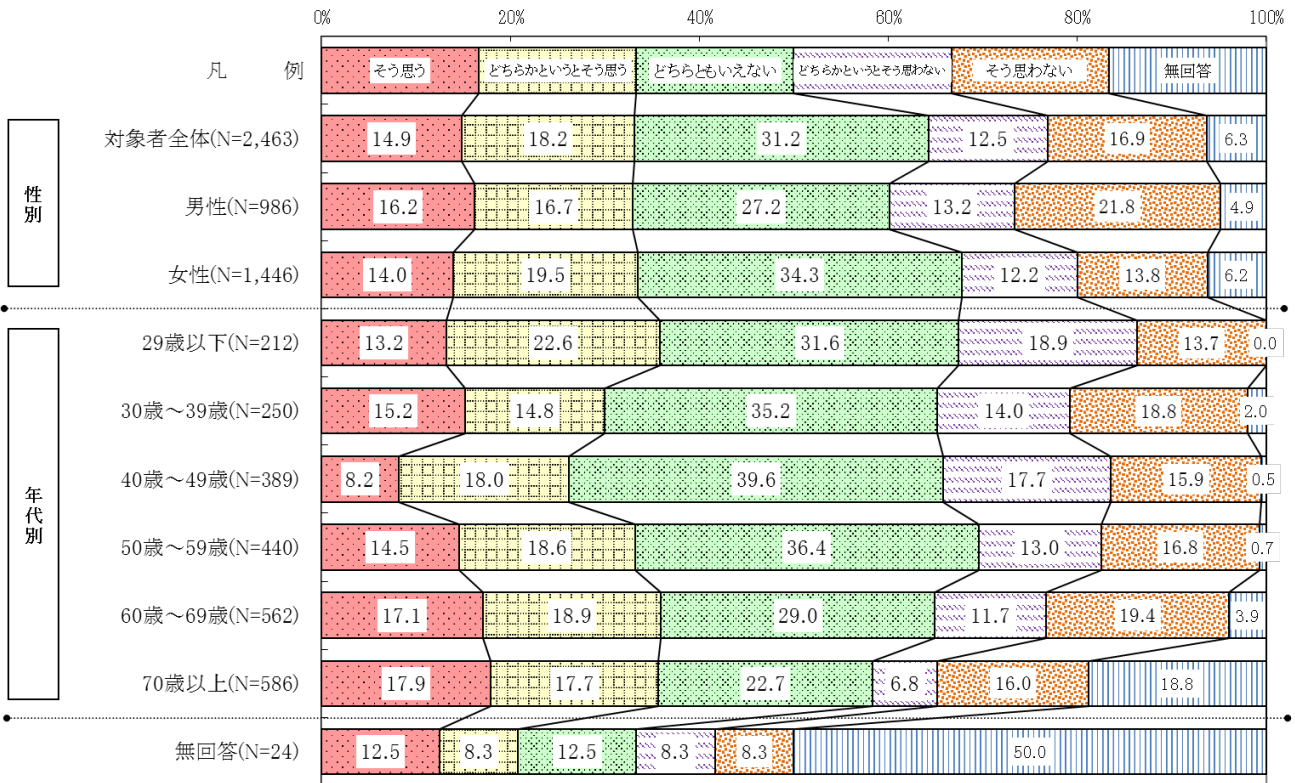
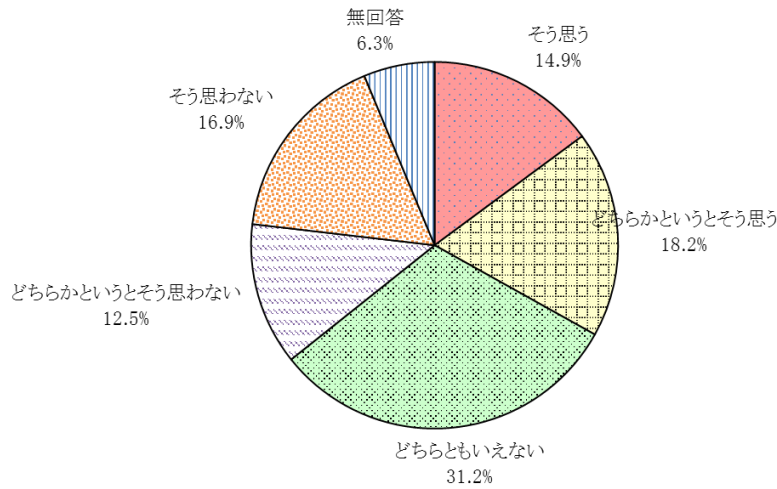
“本人が依存の問題を認めることから回復が始まる”について「そう思う」が 62.1%、「どちらかというと思う」が 22.5%、合わせると 84.5%となっている。

“依存症の回復には長い時間がかかる”について「そう思う」が 66.3%、「どちらかというと思う」が 19.0%、合わせると 85.3%となっている。

【各設問の結果】

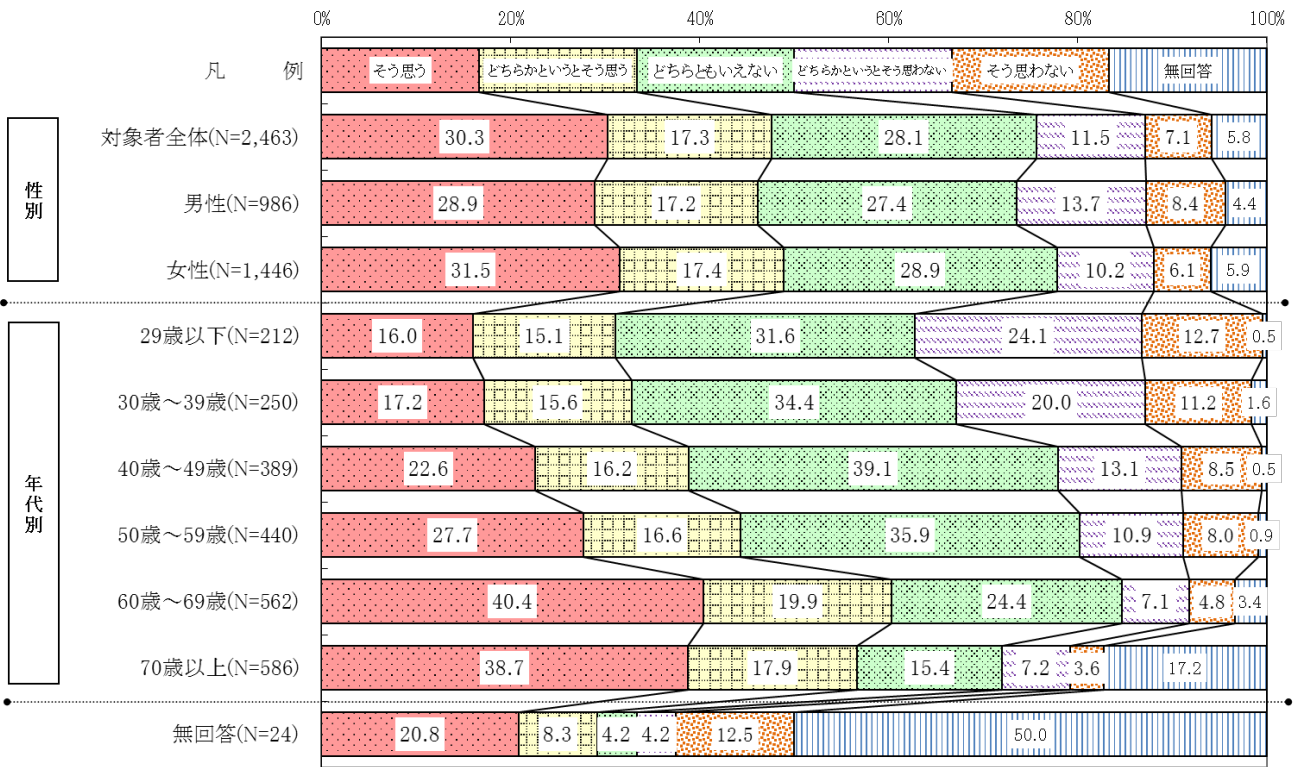
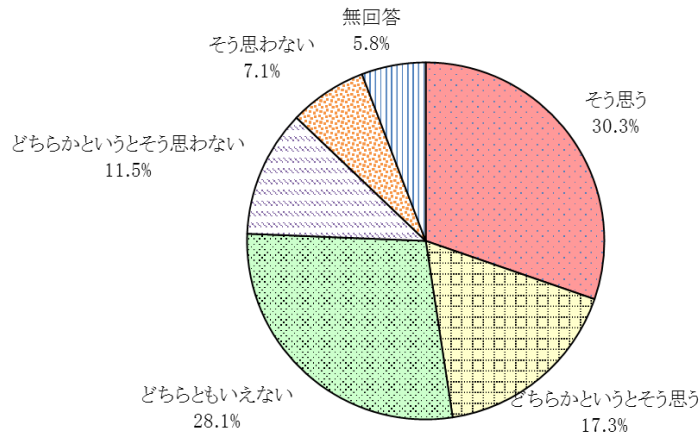
<ア 依存症は病気であり、本人の性格や意思の問題ではない>

対象者全体(N=2,463)



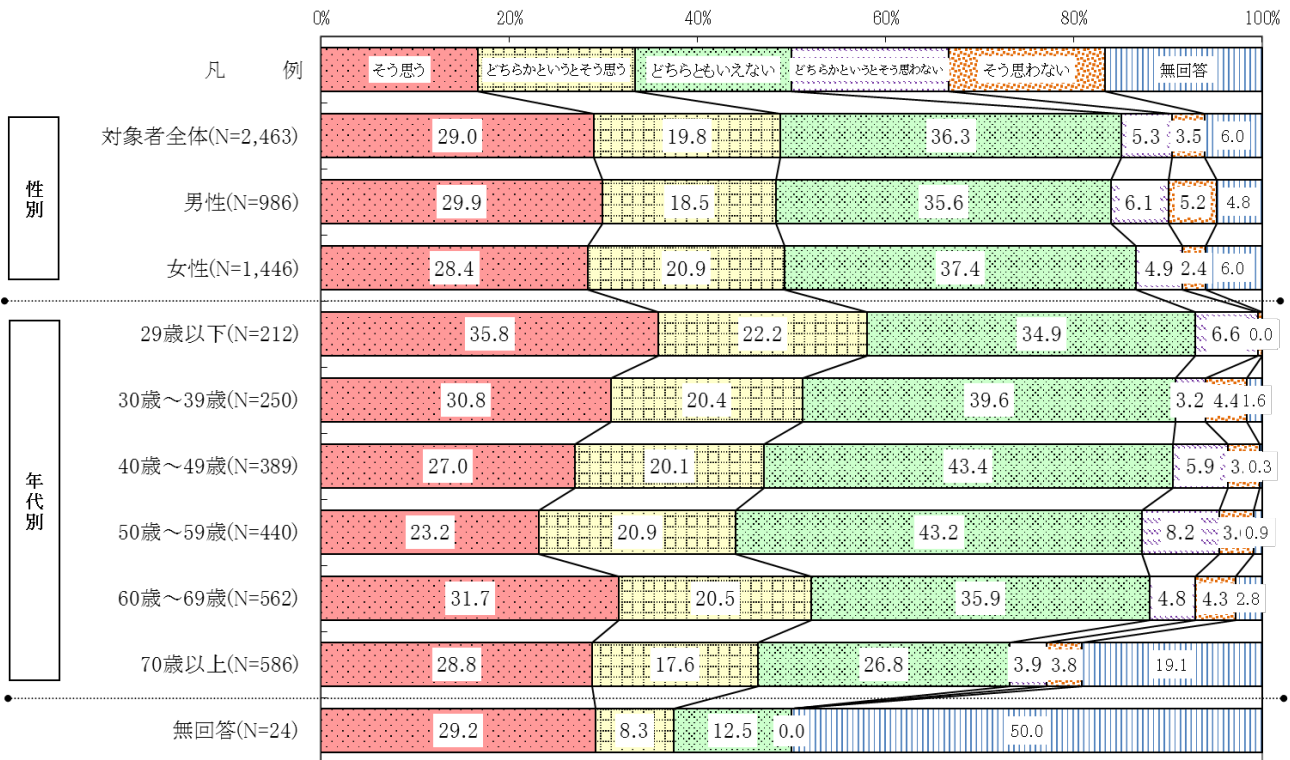
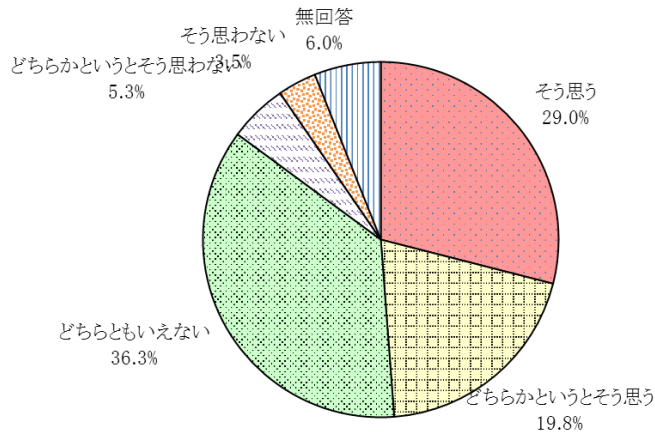
<イ お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらない>

対象者全体(N=2,463)



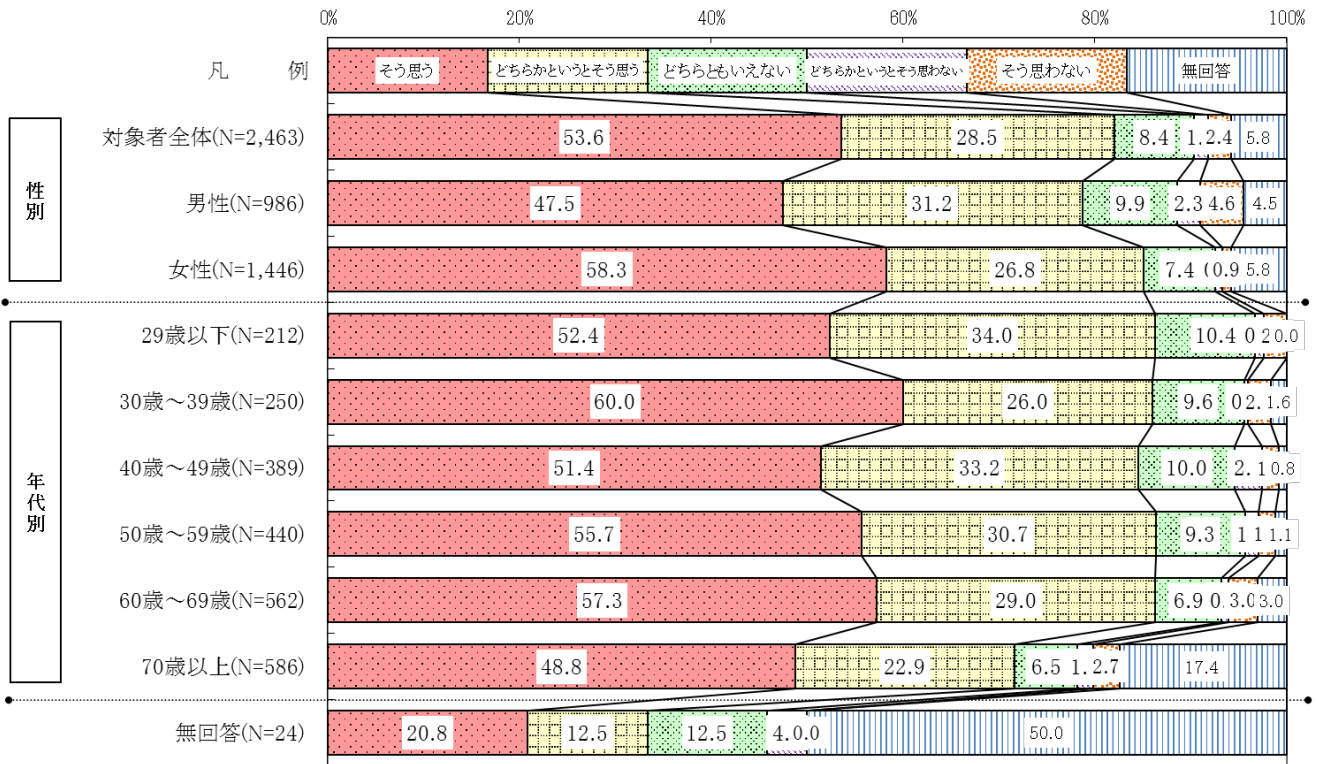
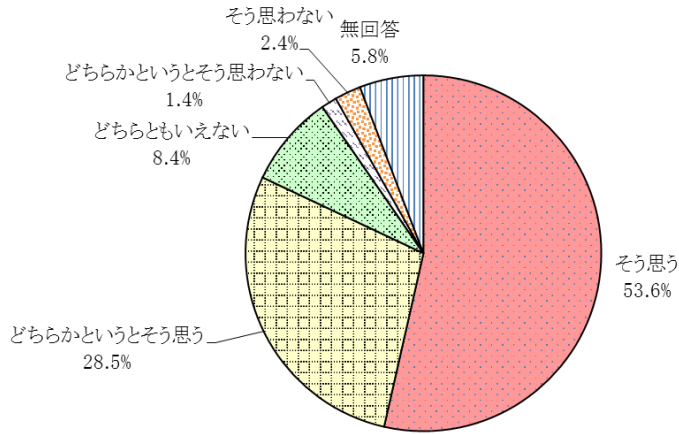
<ウ 借金などのトラブルを家族が肩代わりをして解決するべきではない>

対象者全体(N=2,463)



<エ 本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切>

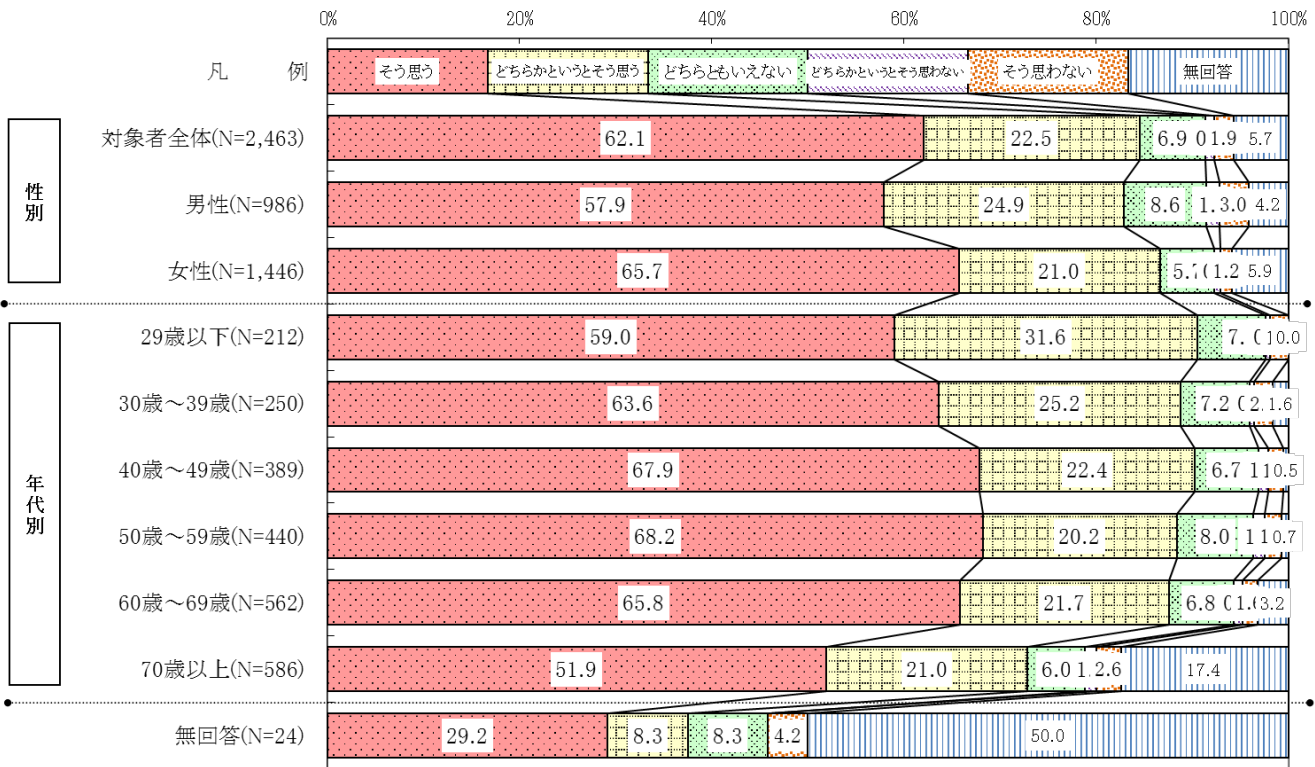
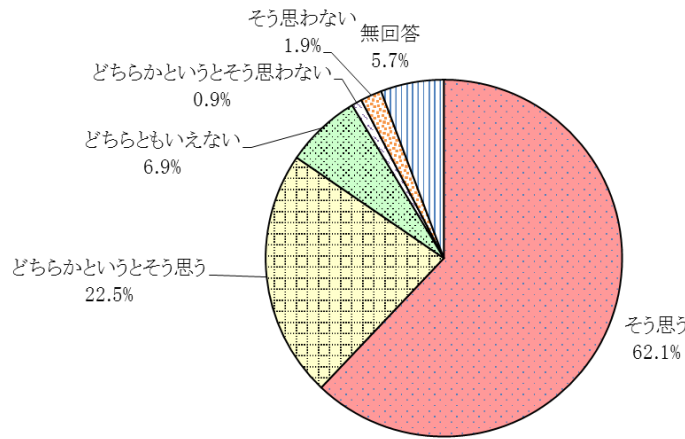
対象者全体(N=2,463)



平成 30 年度札幌市第 1 回市民意識調査  
(平成 30 年 7 月 20 日～8 月 3 日実施)より

<オ 本人が依存の問題を認めることから回復が始まる>

対象者全体(N=2,463)



<カ 依存症の回復には長い時間がかかる>

対象者全体(N=2,463)

